

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2005-251761 (P2005-251761A)

【公開日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報 2005-036

【出願番号】特願 2005-125332 (P2005-125332)

【国際特許分類】

H 0 1 J 29/92 (2006.01)

H 0 1 J 31/12 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 29/92 Z

H 0 1 J 29/92 A

H 0 1 J 31/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

(3) 電位規定構造 低電圧層(導電層) 1 1 4 は、リアプレート 1 0 2 上に、スルーホール構造 1 0 8 の大気側から一定距離に形成された層である。低電圧層(導電層) 1 1 4 は、筐体 1 1 5 側の例えばグラウンドに電氣的接続されており、グラウンド電位に規定されている。この構成によって、スルーホール構造 1 0 8 に印加された高電位の存在領域を、低電圧層(導電層) 1 1 4 の内側(低電圧層(導電層) 1 1 4 とスルーホール構造 1 0 8 との間の領域)に閉じ込めることができるため、リアプレート大気側の周辺での不慮の放電を防止することが可能となる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

ここで、第一の導電体及び第二の導電体と弾性構造 1 0 7 との位置関係について、図 1 2 及び図 1 3 を用いて説明する。